

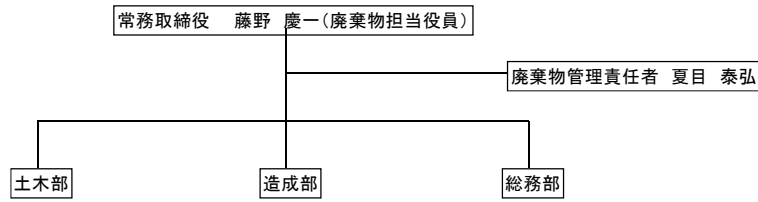
様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 7年 5月 日	
浜松市長 中野 祐介 殿	
提出者	
住所 浜松市中央区和地町6320	
氏名 藤野建設株式会社	
代表取締役 藤野 慶一	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 053-486-0239	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	藤野建設株式会社
事業場の所在地	浜松市中央区和地町6320
計画期間	令和6年 4月 1日 ～ 令和7年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	0 6 総合工事業
② 事業の規模	100.000万円 ※決算未処理の為概算
③ 従業員数	38人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・道路建設工事 がれき類（アスファルト・コンクリート塊） →再生処理業者に委託して再生骨材として再資源化 木くず →再生処理業者に委託して、チップ（合材用、燃料用）として再資源化 建設汚泥 →再生処理業者に委託して、流動化処理土として再資源化 混合 →再生処理業者に委託して、分別回収し資源として利用

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

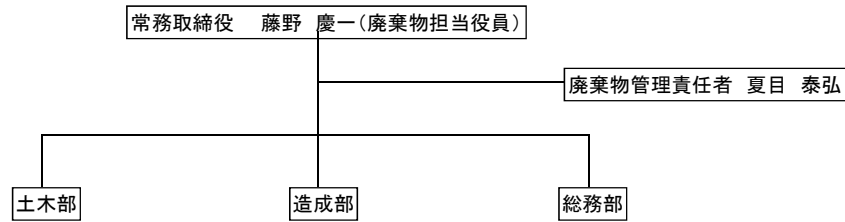
①現状	【前年度（令和6年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	建設汚泥	混廃
	排出量	1,122.2t	0t	73.6t	12.0t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	建設汚泥	混廃
	排出量	1,500 t	200t	10t	10t
	(今後実施する予定の取組) ・特に無し				

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・一般廃棄物等の混入を防ぎ、混合廃棄物は極力減らす。 ・プラスチック系廃棄物、木枝・根株等リサイクル可能廃棄物の分別。 ・廃棄物の仮置きは極力少なくする。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特に無し

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	廃プラ			
	排出量	8t			
	(これまでに実施した取組) ・ 分別処理を基本とし、混廃を極力少なくする。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃プラ			
	排出量	5 t			
	(今後実施する予定の取組) ・ 特に無し				

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 一般廃棄物等の混入を防ぎ、混合廃棄物は極力減らす。 ・ プラスチック系廃棄物、木枝・根株等リサイクル可能廃棄物の分別。 ・ 廃棄物の仮置きは極力少なくする。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 特に無し

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組) _____		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(今後実施する予定の取組) _____		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組) _____		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(今後実施する予定の取組) _____		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組) _____		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(今後実施する予定の取組) _____		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	1,122.2 t	0t
	優良認定処理業者への処理委託量	_____ t	_____ t
	再生利用業者への処理委託量	1,122.2 t	0t
	認定熱回収業者への処理委託量	_____ t	_____ t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組) 現場内及び周辺の不法投棄ごみ処分(廃プラを含む混廃) ペットボトル、空き缶等リサイクルできるものは分別・処分		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組) _____		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(今後実施する予定の取組) _____		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	混廃	
	全処理委託量	73.6t	12.0t	
		優良認定処理業者への処理委託量	_____ t	_____ t
		再生利用業者への処理委託量	73.6t	12.0t
		認定熱回収業者への処理委託量	_____ t	_____ t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組) 現場内及び周辺の不法投棄ごみ処分(廃プラを含む混廃) ペットボトル、空き缶等リサイクルできるものは分別・処分			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組) _____		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(今後実施する予定の取組) _____		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	廃プラ		
	全処理委託量	8.0t		
		優良認定処理業者への処理委託量	_____ t	
		再生利用業者への処理委託量	8.0t	
		認定熱回収業者への処理委託量	_____ t	
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	_____ t	
	(これまでに実施した取組) 現場内及び周辺の不法投棄ごみ処分(廃プラを含む混廃) ペットボトル、空き缶等リサイクルできるものは分別・処分			

	②計画	【目標】 令和 7年度			
		産 業 廃 棄 物 の 種 類		がれき類	木くず
		全 処 理 委 託 量		1, 500 t	200t
			優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	_____ t	_____ t
			再生利用業者への処 理 委 託 量	1, 500 t	200t
			認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	_____ t	_____ t
			認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への 処 理 委 託 量	_____ t	_____ t
		(今後実施する予定の取組) 新たな取り組みは特になし。 (伐採後の幹は地元で必要な人には配布する。)			
	※事務処理欄				

②計画	【目標】 令和 7年度			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		建設汚泥	混廃
	全 処 理 委 託 量		10t	10t
		優良認定処理業者への処 理 委 託 量	_____ t	_____ t
		再生利用業者への処 理 委 託 量	10t	10t
		認定熱回収業者への処 理 委 託 量	_____ t	_____ t
		認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への 処 理 委 託 量	_____ t	_____ t
	(今後実施する予定の取組) 新たな取り組みは特になし。			
	※事務処理欄			

	②計画	【目標】 令和 7年度			
		産業廃棄物の種類		廃プラ	
		全処理委託量		5t	
			優良認定処理業者への処理委託量	_____ t	
			再生利用業者への処理委託量	5t	
			認定熱回収業者への処理委託量	_____ t	
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	_____ t	
		(今後実施する予定の取組) 新たな取り組みは特になし。			
※事務処理欄					

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。